

平安京大極殿と大沼浮島

平安京大極殿の護り



しくみ一覧

- 妙見神社 536.79km - 平安京大極殿 - 大沼の浮島（出島）536.79km
- 火山 536.85km - 平安京大極殿 - 大沼の浮島（龍蛇池）536.85km
- （参考）■豊福阿蘇神社 536.725km - 平安京大極殿 - 大沼浮島稻荷神社 536.74km 10mずれ

- 石上神社 537km - 大沼の浮島 - 平安京大極殿 537km
- 石上神社 87.41km - 劔之宮王子神社 - 平安京大極殿 87.41km

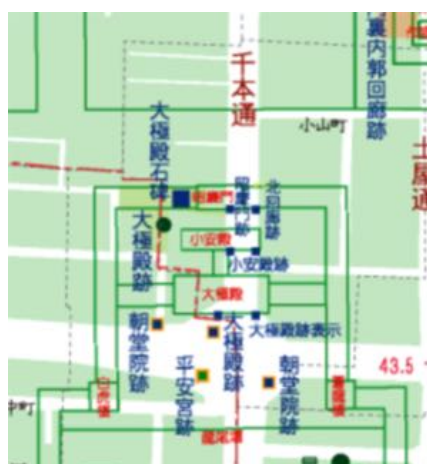
しくみ詳細

- 妙見神社 536.79km - 平安京大極殿 - 大沼の浮島（出島）536.79km

中道角

平安京大極殿

桓武天皇は延暦3年（784年）に平城京から長岡京を造営して遷都したが、これは天武天皇系の政権を支えてきた貴族や寺院の勢力が集まる大和国から脱して、新たな天智天皇系の都を造る意図があったといわれる。しかしそれから僅か9年



後の延暦12年（793年）の1月、和氣清麻呂の建議もあり、桓武天皇は再遷都を宣言する。場所は、長岡京の北東10km、二つの川に挟まれた山背国北部の葛野郡および愛宕郡の地であった。事前に桓武天皇は現在の京都市東山区にある將軍塚から見渡し、都に相応しいか否か確かめたと云われている。日本紀略には「葛野の地は山や川が麗しく四方の国の人が集まるのに交通や水運の便

が良いところだ」という桓武天皇の勅語が残っている。

「大極殿」の名は、万物の根源、天空の中心を意味する「太極」に由来する。すなわち、帝王が世界を支配する中心こそ「大極殿」の意である。

左極

火山山頂

神功皇后が山上で火を焚いたことから付いたといわれる。山頂近くには、清賀聖人が839年に開創した瑠瑠璃光寺では薬師如来、不動明王を祀る。
福岡県糸島市志摩稲留

妙見神社

詳細不明。妙見大菩薩 妙見宮とも言われた。大和町には、律令時代以降の肥前国府があった。古代佐賀の中心地だった。

佐賀市大和町大字久池井300

豊福阿蘇神社

永承2年（1047年）、関白藤原道隆により八幡神を祭神として創建。鎌倉時代に、阿蘇氏の勢力下となり阿蘇神社・甲佐神社の二社が合祀され三宮社となった。さらに後、主神である八幡神の影が薄れ、阿蘇神社としての色がより濃くなり現在に至っている。熊本県宇城市松橋町豊福



右極

大沼浮島（出島）

大沼浮島（龍蛇池）

大沼浮嶋稻荷神社

湖畔にある大沼浮嶋稻荷神社（祭神/宇迦之御魂神）の神池とされ狐の形をしている。沼には大小の葦の島が風や流れに関係なく浮遊し、江戸時代には国の数32あり、その動きで吉凶を占っていたとされる。沼は白竜湖とも呼ばれ弁財天が祀られている。大円寺『朝日嶽縁起』（1505年）によると、朝日岳の麓に御手洗の「大富沼」があると記されている。

白鳳9年（681）役の小角（役の証覚・役の行者）が弟子の覚道を連れて出羽路に來た折、大谷川（朝日町大谷）のほとりで梵字が記された板碑が流れくるのを見つけ、



川をさかのぼり、60 余りの島が浮遊する神池大沼を見つけた。湖畔に浮島稲荷大明神を祀り、弟子覚道を別当（大行院）とし朝日岳修験が行なわれた。建久4年（1193）には寒河江荘地頭となった大江広元の進言により源頼朝の祈願所になり、その後も大江家、徳川家、最上家にも祈願所として崇敬された。国指定名勝。山形県西村山郡朝日町大沼

備考/浮島は、現在は数も減り、岸に付き動かないことが多いが、動く時は流れや風に関係なく意志があるかのように動き回り驚く。役の小角は梵字が書かれた板碑が流れてきたのを見つけたのだから、すでに大沼は異教徒の浮島信仰の地だったはず。稲荷神社の神池とされるが、元々「大富沼」が大沼なら出雲系「富一族」の祀る沼だったのだろう。大朝日岳にも大富観音が祀られていた。元々弁財天や龍神の神池に稲荷神が祀られたのだと考えられる。あるいは、730年に「大沼社を南西の丘に移す」記述があるが、その時に稲荷社にすり替えられたのかもしれない。いずれにせよ、古くはほとんどが稲荷神社ではなく大沼の鳥居の立つ「出島」（写真/浮島と奥に出島）が起点となっている。弁財天を祭神とする大沼浮島社（仮称）はここにあったはず。全国に散らばる浮島神社の総本宮ではないか。そして、多くの神社の神池に浮島のごとく島が作られ弁財天や市杵島姫が祀られているのも本来は分社だったのではないだろうか。池に囲まれた古墳すらも浮島に見えてくる。古代史を探る時、きっと浮島信仰は重要な鍵になると思われる。



備考

奈良時代にはつながりがあった湯殿山や山寺立石寺なども調べたが、つながりは見つけられなかった。鳥海山大物忌神社奥宮もなかった。時代の変わり目がしくみの変わり目でもあるのだろう。大沼浮島や大朝日岳はつながられている。ただ、大朝日岳と同じで平安京の鬼門になっている。強い守り神であり恐い「鬼」でもある存在ということだろう。

大沼浮島封じ

- 石上神社 537km - 大沼の浮島 - 平安京大極殿 537km
- 石上神社 94.4km - 歳徳神社 - 平安京大極殿 94.4km
- 石上神社 87.4km - 劔之宮王子神社 - 平安京大極殿 87.4km



右脇侍角 平安京大極殿 ※上記参照

左脇侍角

石上神社（旧石上山安養寺）

詳細不明。祭神 饒速日命、丹波道主命。同位置にあった旧石上山安養寺は、宮津智源寺の末派でもとは天台宗だったが、去る六百五十余年前醍醐天皇正慶の頃心庵和尚の開基なり。曹洞宗。本尊は仏師定朝作の観音。本山永平寺の開祖道元禅師の御遺偈（普通人の遺言）がある。同寺蔵の本尊由来記によれば、「安養寺は往古天台宗大伽藍の地也。石上神社の同境内なり。故に石上山安養寺と号す。前の小川に欄干橋あり。元和の頃兵乱の節、仏閣僧房悉く焼却し、漸く本尊観世音を取り出し石上神社内に置く云云」とある。京都府京丹後市弥栄町芋野



勝頂角

劔之宮王子神社

少彦名神、国土を経営せられし時、劔をこの地より発掘し十束の劔と名付け奉齋するが初めとされる。播磨鑑には劔の宮とされる。祭神 国常立尊 伊弉諾尊 素盞鳴尊 兵庫県加西市西劔坂町423

負頂角（鬼角）

大沼浮島 ※上記参照

備考

大沼浮島を封じて気を引き寄せる十字架封印型しくみ。勝ち頂角の劔之宮王子神社には国常立尊、伊弉諾尊、素盞鳴尊と、やはり強い神々がおかれ、石神神社の饒速日命、丹波道主命、そして大極殿の天皇をも押さえつけ脇侍にし、大沼浮島を封じている。負け頂角は浮島稲荷神社ではなくいつも大沼浮島の出島。隠しておきたい神は、弁財天か瀬織津姫か。